

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 学習指導 教育課程	① 生徒の意欲を高める教育課程や授業改善に取り組む。 ② 外部との連携を図りながら、授業改善を行う。 ③ 学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。	教育課程の見直しを行う。「主体的・対話的で、深い学び」につながる授業展開を研究する。	選択科目の在り方や卒業単位数について検討する。単元や毎回の授業で目標を示し、振り返りを行い、達成状況を把握する。	教育課程の変更を作成できたか。 生徒による授業評価結果。					
2 生徒指導・支援	① 支援教育について全職員が共通理解をもち、支援が必要な生徒に対して適切で組織的な支援を行う。 ② 生徒会活動、部活動、ボランティア活動などを通して、豊かな人間性、望ましい社会性、規範意識を育む。	地域や中学校等とも連携し、生徒会活動、部活動、ボランティア活動などを通じて社会性や規範意識を育む。	自分が所属する集団において、どのように貢献するかを意識化させる。	アンケートによる集約。					
3 進路指導・支援	キャリア教育を推進し生徒の自己実現のため個性と希望に即した進路指導を支援する。	3年間を見通した、生徒の発達段階に応じたプログラムを構築する。	キャリア育成のために、中学校から高校、高校から大学・専門学校への「学びの構え」の違いを指導し、進路設計の覚悟を促す。	アンケートにより基礎的汎用的能力の「身に付けたい力」が育成できたかを集約。					
4 地域等との協働	家庭や地域と連携して教育活動を展開し、開かれた学校づくりを推進する。	コミュニティスクールの部会活動を定着させる。	学校運営協議会を軸に、地域協働部会、教育交流部会を運営する。	地域と連携した活動数。					
5 学校運営 学校管理	① すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。 ② 安全・安心な環境を継続する。	安全・安心な環境維持に向け、いじめの予防、早期発見、体罰や不適切な指導の根絶を図る。	いじめの早期発見のため定期的なアンケートの実施。計画的に事故防止研修を行う。	いじめに対する認知度。セクハラ・体罰調査。					